



株式会社ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

株式会社ヒガシトウエンティワン

2025.3月期第3四半期

連結決算説明資料

東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード<9029>



2025年3月期第3四半期は、売上高**346.8**億円、経常利益**20.6**億円と共に**過去最高**を更新

経常利益は、上期では前年対比で減益となったが、第3四半期では順調に利益を積み上げた結果、**増益**を達成

- 売上高は、**新規開設した大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)**(※1)に加え、大手EC向け輸送業務の拡大や、大手インフラ会社向け資材販売業務の拡大、2024年10月より**㈱ネオコンピタンス(※2)**の新規連結を開始したこと等により、増収
- 経常利益は、㈱ネオコンピタンスの株式取得に伴う取得関連費用や、大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)の開設に伴う初期投資費用、新たに受注した大手EC向けドリンク事業の大規模拡張移転に伴う、ロジスティクスセンター再編のための移設費用の発生等により、上期においては前年対比で減益となったが、上記売上高に記載の業容拡大や、大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)の本格稼働等により、増益

(※1)P. 8<トピックス>参照

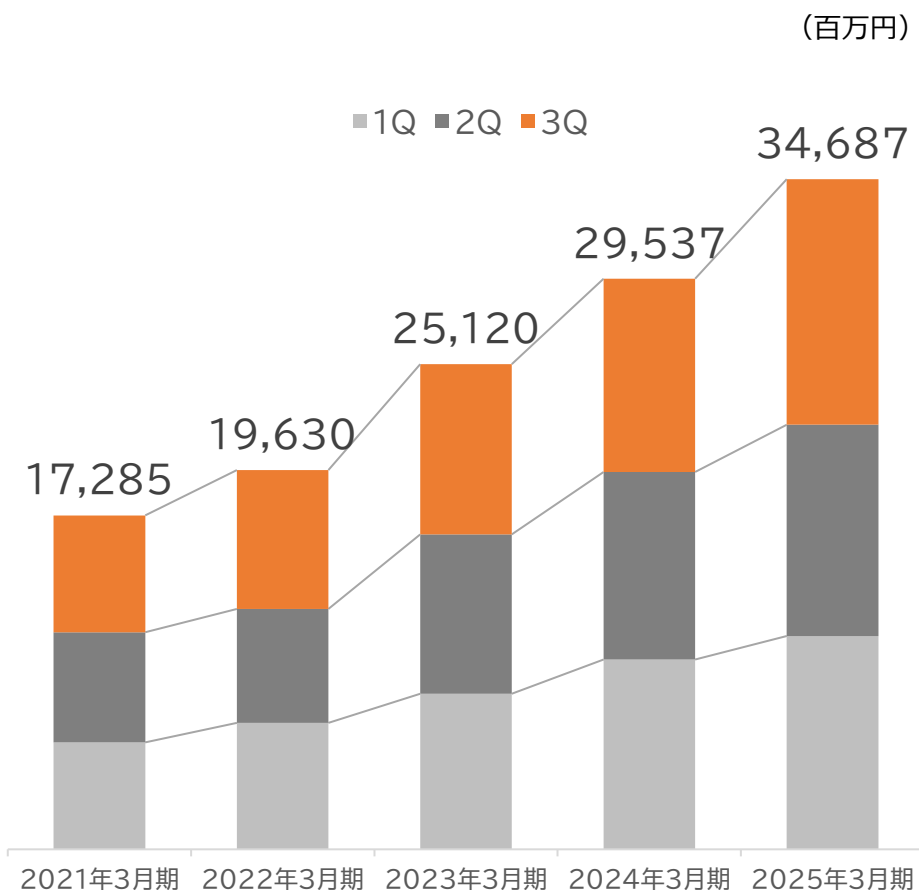
(※2)P. 7<トピックス>参照 (百万円)

	2024年3月期 第3四半期	
	実績	
	実績	全体に占める割合(%)
売上高	29,537	--
売上総利益	5,784	19.6%
販売費および一般管理費	4,099	13.9%
営業利益	1,685	5.7%
経常利益	1,785	6.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,127	3.8%

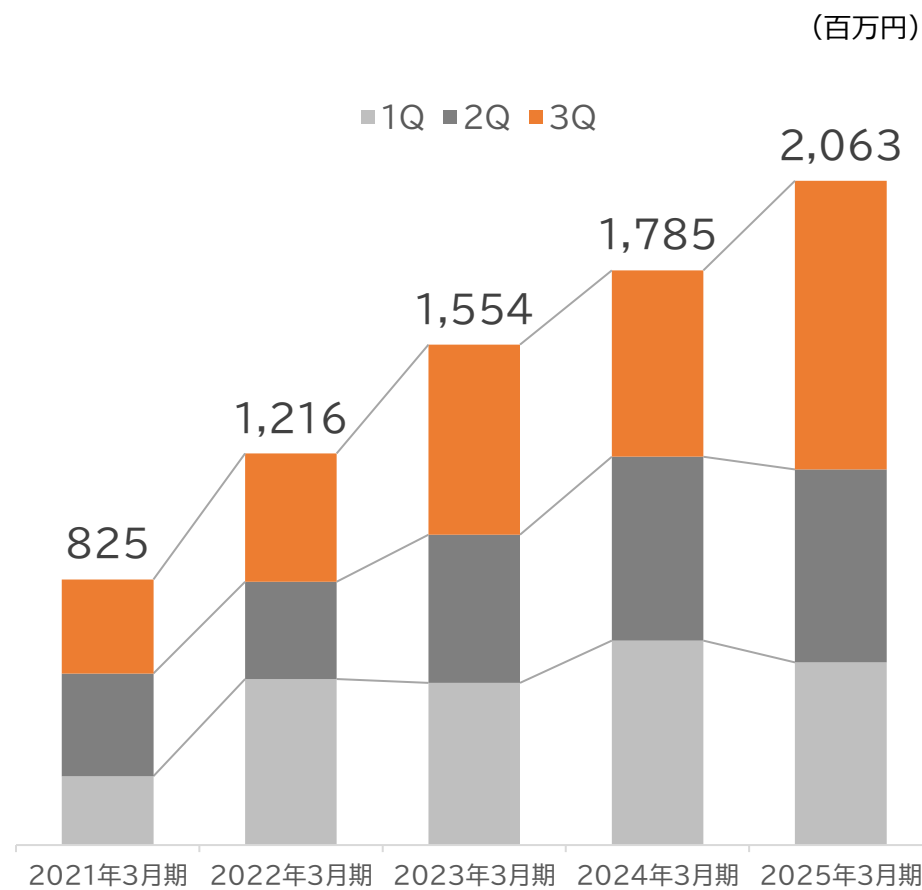
2025年3月期 第3四半期					
実績				2024年3月期第 3四半期との差	
実績	全体に占める割合(%)	通期業績予想	業績予想に対する進捗率	増減額	増減率
34,687	--	42,500	81.6%	5,150	17.4%
6,467	18.6%	--	--	682	11.8%
4,510	13.0%	--	--	410	10.0%
1,957	5.6%	2,450	79.9%	272	16.1%
2,063	5.9%	2,600	79.4%	277	15.6%
1,296	3.7%	1,640	79.0%	168	15.0%

- 2022年3月期は大手インフラ会社向け資材販売の開始、2023年3月期は山神社、旅人社の買収、2024年3月期は大手EC向け流山LCの開設、2025年3月期は大手EC向け神戸西LC稼働、川西LC開設やネオコンピタンス社の買収等により、4期連続で過去最高売上高を更新。同様に経常利益も4期連続で過去最高を更新。

売上高（第3四半期）



経常利益（第3四半期）



(2025.3月期 第3四半期)セグメント別 売上高/利益

- 運送事業 ⇒ 大手EC向け配送業務の拡大、新紙幣対応による精密機器の配送・設置業務の増加や、大口得意先からのカタログ発送業務の受注等により、増収増益
- 倉庫事業 ⇒ 前年度に開設した大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)が本格稼働したことにより、大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)の開設に伴う初期投資費用を吸収し、増収増益
- 商品販売事業 ⇒ 大手インフラ会社向け資材販売の取扱物量が増加したこと等により、増収増益
- ウェルフェア事業 ⇒ 福祉用具の新規貸出しが増加したこと等により、増収増益
- その他事業 ⇒ 2024年10月より(株)ネオコンピタンスの新規連結を開始したことや、(株)旅人において第2四半期から価格改定を実施したことにより、増収増益

(百万円)

	2024年3月期		2025年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	29,537	--	34,687	--	5,150	17.4%
運送事業	16,362	55.4%	17,983	51.8%	1,620	9.9%
倉庫事業	7,906	26.8%	10,452	30.1%	2,545	32.2%
商品販売事業	3,318	11.2%	3,821	11.0%	502	15.1%
ウェルフェア事業	796	2.7%	853	2.5%	56	7.1%
その他事業	1,152	3.9%	1,577	4.6%	424	36.8%
	実績	利益率	実績	利益率	前年同期比	
					増減額	増減率
セグメント利益	3,264	11.1%	3,654	10.5%	390	12.0%
運送事業	2,011	12.3%	2,140	11.9%	128	6.4%
倉庫事業	732	9.3%	881	8.4%	148	20.3%
商品販売事業	170	5.1%	247	6.5%	77	45.6%
ウェルフェア事業	121	15.3%	136	16.0%	15	12.5%
その他事業	228	19.8%	248	15.7%	20	8.9%

- オフィスサービス事業 ⇒前年に受注した大型移転案件の反動等により、上期では減収となったものの、第3四半期では回復基調となり、前年同水準の売上高を確保
- 3PL事業 ⇒大型3PLセンター(神戸西LC、川西LC)の開設、前年度に開設した大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)の本格稼働や、大手インフラ会社向け資材販売の取扱物量が増加したこと等により、増収
- ITサービス事業 ⇒前年のキッティング大型案件特需の反動等により、上期では減収となったものの、第3四半期では回復基調となり、前年同水準の売上高を確保
- ビルデリバリー事業 ⇒既存ビルデリバリー拠点に入居するテナント企業との取引増加や、災害対策品販売のスポット案件の受注等により、増収
- 基幹事業 ⇒大手EC向け輸送業務の拡大や、新紙幣対応による精密機器の配送・設置業務の増加や、2024年10月より(株)ネオコンピタンスの新規連結を開始したこと等により、増収

(百万円)

	2024年3月期		2025年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	29,537	--	34,687	--	5,150	17.4%
オフィスサービス事業	4,265	14.4%	4,254	12.3%	△10	△0.3%
3PL事業	7,965	27.0%	10,898	31.4%	2,933	36.8%
ITサービス事業	2,680	9.1%	2,619	7.5%	△61	△2.3%
ビルデリバリー事業	1,477	5.0%	1,700	4.9%	233	15.1%
介護サービス事業	796	2.7%	853	2.5%	56	7.1%
基幹事業	12,352	41.8%	14,362	41.4%	2,009	16.3%

売上高・経常利益共に過去最高を見込む

- 売上高は、前年度に開設した、首都圏輸送センターや神戸西LCの本格稼働や、大手インフラ会社向け資材販売業務、大手EC向け配送業務の拡大等に加え、2024年8月より稼働開始した大型3PLセンター(川西LC)や、2024年10月より(株)ネオコンピタンスのPLの新規連結が開始したこと等により、増収の見込み
- 経常利益は、前年度に引き続き、幅広い事業での成長に向けた車両・設備・人材への投資が計画されているものの、新紙幣対応による精密機器の配送・設置業務等の付加価値の高い業務が継続することや、大型3PLセンター(流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC)の収益化が進むことにより、増益の見込み

(百万円)

	2024年3月期	
	実績	
	実績	全体に占める割合(%)
売上高	40,635	--
営業利益	2,190	5.4%
経常利益	2,309	5.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,506	3.7%
1株当たりの当期純利益(円)	114.49	—

2025年3月期						
予想						
通期予想	全体に占める割合(%)	うち上期	うち下期	2024年3月期との差		
				増減額	増減率	
42,500	--	20,580	21,920	+1,864	+4.6%	
2,450	5.8%	1,220	1,230	+259	+11.9%	
2,600	6.1%	1,260	1,340	+290	+12.6%	
1,640	3.9%	790	850	+133	+8.8%	
124.05	—	59.76	64.29	—	—	



■ (株)ネオコンピタンス

第3四半期より(株)ネオコンピタンス(直近の売上:2,013百万円)のPLの連結を開始したことに伴い、増収。



■ 神戸西ロジスティクスセンター

2024年3月15日より稼働を開始し、順次本格稼働。
下期では稼働率が向上することにより、収益増を目指す。



■ 川西ロジスティクスセンター

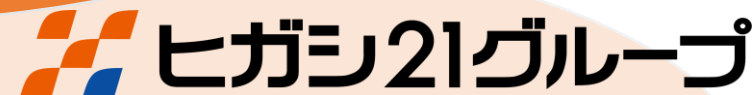
2024年8月14日より順調に稼働を開始し、増収に貢献。
下期では取扱物量を増加させることにより、更なる売上拡大を見込む。

- 2024年6月14日(金)に(株)ネオコンピタンス(直近の売上高:2,013百万円)のグループ会社化を発表
- 埼玉県を中心とした拠点ネットワークを構築しており、「近隣在住の派遣スタッフにとっての利便性」と「物流事業を営む派遣先顧客の人材確保ニーズ」の両方を満たす人材派遣事業が強み



- ・ 当社グループ会社や当社取引先などへの人材派遣、派遣スタッフの安定就労先拡大による事業拡大

グループ化によるシナジー効果



- ・ 当社グループが首都圏エリアで展開する3PL事業、オフィスサービス事業、ビルデリバリー事業等での安定的な人材の確保が可能

■ 神戸西ロジスティクスセンター

- ⇒ 主要幹線道路に接続しやすく、関西・中四国方面への広域配送拠点として優れた立地
- ⇒ 交通利便性を活かし、関西圏での大手EC向け3PL事業の拡大を目指す

開設時期	2024年3月
所在地	〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1丁目26
アクセス	山陽自動車道「神戸西IC」から約1.5km
構造・規模	鉄骨造、地上4階建て
延床面積	約54,700㎡(約16,500坪)



■ 川西ロジスティクスセンター

- ⇒ 当社グループ史上最大規模となる約21,800坪の延床面積を有する
- ⇒ 神戸・京都方面へのアクセスも良好で、近畿エリアの物流拠点として優れた立地
- ⇒ 広大な延床面積を活かし、関西圏での大手EC向け3PL事業の拡大を目指す

開設時期	2024年8月
所在地	〒666-0156 兵庫県川西市石道門田1番1
アクセス	新名神高速道路「川西IC」から約800m
構造・規模	鉄筋コンクリート造ならびに一部鉄骨造、地上4階建て
延床面積	約72,200㎡(約21,800坪)



2024年8月23日開催の取締役会の決議により、2025年4月(予定)に持株会社体制への移行を決定。

2024年10月25日開催の取締役会の決議により、吸収分割契約を締結。

2024年12月20日開催の臨時株主総会の決議により、吸収分割契約の承認。

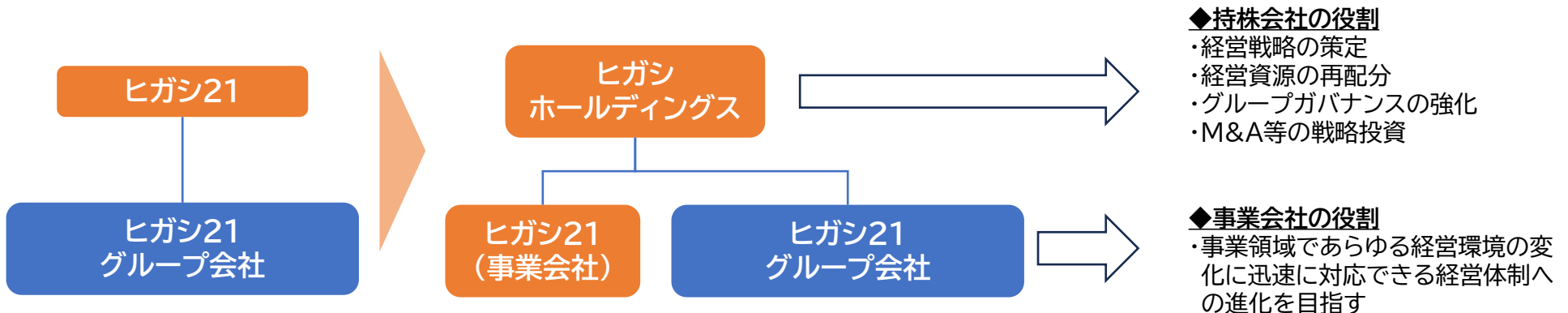
⇒「(株)ヒガシトゥエンティワン」は2025年4月1日(予定)に商号を「(株)ヒガシホールディングス」に変更

持株会社への移行の背景

働き方改革関連法に伴う2024年問題、労働力人口の減少、気候変動への対応等、当社を取り巻く環境が大きく変わる中で、当社が更なる事業拡大を進め、グループガバナンスを一層強化して企業価値の向上を追求するためには、持株会社体制への移行が最適であると判断し、移行することを決定いたしました。

持株会社への移行の目的

持株会社は経営戦略の策定、資源の再配分、グループガバナンスの強化、M&A等の戦略投資を中心としたグループ経営に特化し、事業会社はそれぞれの事業領域で、あらゆる経営環境の変化に迅速に対応することで、グループ全体として、柔軟かつ強靱な経営体制へと進化することを目指しております。



吸収分割の方式

当社を分割会社とする吸収分割により、分割する事業を当社が100%出資する子会社「(株)ヒガシトゥエンティワン分割準備会社」へ承継いたします。

分割する事業の内容

当社が営む一切の事業(株式を保有する会社の事業活動に対する支配、管理、グループ運営に必要な業務に係る事業及び不動産の保有に係る事業を除く)

日程

2024年9月6日	「(株)ヒガシトゥエンティワン分割準備会社」設立
2024年10月25日	吸収分割契約締結 ※
2024年12月20日	臨時株主総会(吸収分割契約承認)
2025年4月1日(予定)	持株会社体制への移行(吸収分割契約の効力発生日) 「(株)ヒガシトゥエンティワン」の商号を、「(株)ヒガシホールディングス」に変更 「(株)ヒガシトゥエンティワン分割準備会社」の商号を、「(株)ヒガシトゥエンティワン」に変更

※詳細につきましては、2024年10月25日公表の、

「持株会社体制への移行に伴う吸収分割契約締結および 定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/> その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

